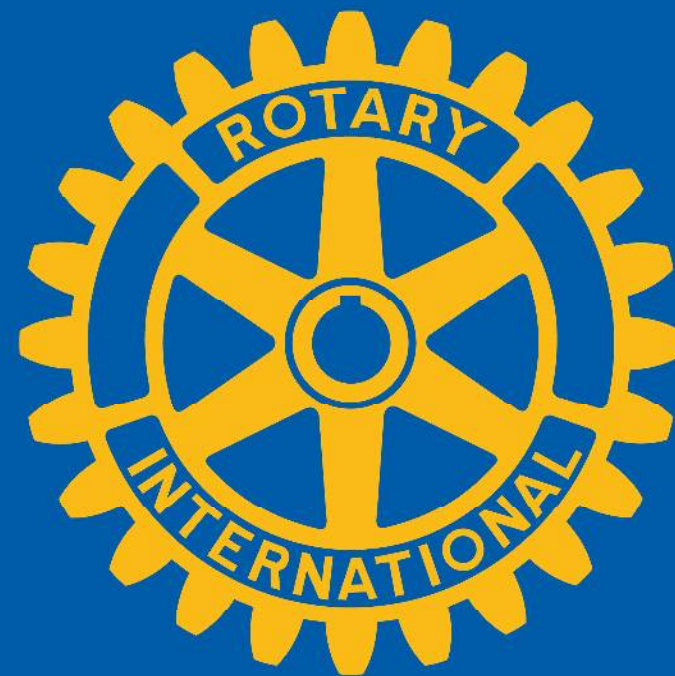


元気なクラブ  
づくりのために

クラブ・リーダーシップ・  
プラン



# 元気なクラブとは

「元気」なクラブは:

- 活発に活動している
- 会員が積極的に参加している
- 有意義なプロジェクトを実施している
- 柔軟である
- 新しく、楽しいアイデアを取り入れる
- 個性がある
- 会員の多様性や個性を生かしている

# 元気のあるクラブの強み

新しい運営方法を取り入れることにより:

- 活気が生まれる
- クラブがもっと楽しくなる
- 会員同士の結びつきが深まる



# クラブの未来の姿を思い描く

3～5年後にどのようなクラブになりたいかを考える



# 年度目標を立て記録する

年度目標をロータリークラブ・セントラルに入力

- 年度目標は、長期目標達成へのステップ
- クラブの最近の達成事項がロータリークラブ・セントラルに記録されるよう、目標と進捗状況を定期的に入力
- クラブ運営を透明性のあるものにするため、クラブ目標に関する情報を閲覧するようクラブ会員に奨励

# クラブ協議会を定期的に関く

クラブ協議会を定期的に関き、会員の参加意欲と熱意を維持

- すべての会員からアイデアと関心事を募る
- クラブのニーズに全会員で取り組む
- 会員の関心が高いことを活動計画に盛り込む





# オープンなコミュニケーションを図る



会員が自由にアイデアや情報を交換し、全員がクラブの方向性を決める

クラブ改善のためのアイデアをクラブのリーダーに提案し、ほかの会員にも意見を聞く

# 後継者を育てスムーズな引継ぎを図る

毎年リーダーが交代するロータリーでは、多くの会員がリーダーの役割に就くチャンスがある

会長エレクトとノミニーが就任に備えられるよう、現会長とパスト会長に支援をお願いする





# クラブの運営方法を反映させて細則を修正

クラブの発展に伴い、細則を変える

- 「推奨ロータリークラブ細則」は土台
- 必要の応じ修正
- 最近取り入れた運営方法や手続きを反映
- 新たな手続きは、細則に盛り込む前に試験的に取り入れてみる



# 会員同士の交流を深める

ロータリーを楽しんでいる会員

⇒ クラブに積極的に参加

- クラブ行事に親睦の機会を添える
- クラブ行事に家族や友人を招く
- 新会員が歓迎されているという雰囲気をつくる
- 何事も楽しんで行う
- ロータリー親睦活動やロータリアン行動グループを推進する



# 心から関心をもてる活動に参加

会員が心から関心を持っている活動に参加できるようにする

- 会員一人ひとりの関心を調べ、それを基にプロジェクト、活動、プログラムを企画
- 関心があれば積極的に参加
- ボランティア活動やそのほかのクラブ活動がさらに活発に



# リーダーとなる人材を育てる

- ロータリーは職業人とリーダーの集まり
- ロータリーのリーダーとしてのスキルを学んでもらう



# クラブ運営に必要な委員会を設置

クラブの効果的な運営を支える委員会を設置

推奨されている委員会：

- 会員増強委員会
- 広報委員
- 奉仕プロジェクト委員会
- ロータリー財団委員会
- 管理運営委員会

# 伝統と革新



クラブにとって有意義な伝統は維持するとともに、新しい運営方法を会員が提案しやすい環境をつくる



# アイデアを実行する

- 別の日にミーティングを開き、新しいアイデアについて話し合うのも一案
- 会員のアイデアを取り入れる
- アイデアを細則に盛り込む前に試験的に取り入れてみる



# 「元気なクラブづくりのために： クラブ・リーダーシップ・プラン」



- クラブが独自のリーダーシップ・プランを作るための手引き
- 10のベストプラクティスを紹介
- クラブ活性化に役立つ資料

Rotary  リーダーのネットワークへ | アイデアを広げよう | 行動しよう [www.rotary.org](http://www.rotary.org)

Rotary 

# 「元気なクラブづくりのために」の活用法

- ベストプラクティスを吟味  
（「アイデア：クラブでやってみよう」  
を参照）
- クラブの改善点を検討
- 思いつくままにアイデアを挙げて  
みる（ブレインストーミング）
- 新たな方法を試してみる



**私のクラブは「元気」です**

創立60周年を迎える当クラブは、歴史と伝統を誇りつつ、活力あふれるクラブづくりのためにクラブ改革と華仕プロジェクトを展開しています。

今ある戦略計画の先駆けともいえる「21世紀委員会」を2003年に設置し、クラブの現状分析と長期的視点に立った改革事項をまとめ、毎年その見直しを行っています。また、必ず年に1回は会員満足度アンケートを実施して、クラブの改善に努めています。

昨年度、私はクラブ初の女性会長となり、グローバル補助金に挑戦しました。このプロジェクトでは、米山記念奨学金の学友を起用して、現地のニーズ調査とパートナーとの連携に成功しました。

未来のリーダーの育成にも力を入れています。会長エレクト研修だけでなく、新会員研修も積極的に実施しています。この研修が当クラブの提案によって地区にも導入され、PETSの「学習機能」としての役割を果たしています。

地域社会での活動にも精力的です。当クラブが中心となり、市内の他クラブと合同で開催している「まえばし学校フェスタ」は、市内公立小・中・高の合同文化祭として地元市民から好評を得ています。また、家族も参加できる合唱グループや、野球、ゴルフ、ハイキング、インターネットのグループをつつたり、インターアクト、ローターアクト、プロバスクラブを提唱するなど、ファミリーを大切にしています。

元気あるクラブづくりを目指すこのようなたゆみない努力の結果、当クラブは、地区内で最多会員数を誇り、6名のガバナーを輩出しています。

前橋ロータークラブ会員  
山田邦子さん



# 会員のアイデアを取り入れる

